

研究機関名	富山県立大学				
プログラム名	洪水災害をVRで体験してみよう！ -次世代ハザードマップの利活用-				
先生(代表者)	呉修一(くれ しゅういち)・富山県立大学・准教授				
自己紹介	豪雨・洪水災害から人々の命を守るための研究をしています。数値計算(プログラミング)で、洪水や地球温暖化のリスク評価などに取り組んでいます。本プログラムのような防災教育は、自分や家族など、本当に大事なものを守るために重要です。是非、楽しみながら学び、将来の命を救いましょう。 研究室 URL: http://www.pu-toyama.com/				
開催日時・募集対象	2020年 10月 10日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	30名
集合場所・時間	富山県立大学 射水キャンパス 事務局前		(集合時間)	9:30-10:00 受付	
開催会場	富山県立大学 射水キャンパス 中央棟 住所: 〒939-0398 富山県射水市黒河 5180 アクセスマップ URL: https://www.pu-toyama.ac.jp/EE/img/top/MAPkounai2018_kankyo.pdf				
内 容					
<p>最近、洪水や津波などの水災害が、たくさん起こっています。「何で災害が起こるのだろうか？ どうすれば自分や家族の命を守れるのだろうか？ やっぱり地球温暖化のせいなのか？」このような問いに、わかりやすく答えます。また、次世代の新しいハザードマップやVR (Virtual reality) を用いて、洪水災害を仮想体験してもらうことで、家族・学校で防災を考えるきっかけを提供するプログラムです。</p> <p>最初に、講義「洪水の恐怖 -命をいかに守るか- (講師: 呉修一)」を行い、大学の講義の雰囲気を経験してもらうとともに、最近の水害の問題点や温暖化のメカニズムを学習します。</p> <p>次に、体験実習では、自分の家や学校などが、洪水発生時にどのような状況になるのか？ これを実際のハザードマップ、動画・アニメーション、VRを通じて体験してもらうとともに、タイムライン・避難計画の策定を体験してもらいます。また、おやつタイムには防災・非常食も試食してもらいます。</p>					
持ち物			特記事項		
・筆記用具			・お弁当支給 ・おやつ・飲み物支給 ・スマホでの写真撮影など自由にOK		

スケジュール

9:30 ~ 10:00 受付(集合場所:富山県立大学 射水キャンパス 事務局前集合)

10:00 ~ 10:15 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)

10:15 ~ 11:00 講義「洪水の恐怖 -命をいかに守るか-(講師:呉修一)」

(15分休憩)

11:15 ~ 12:00 体験実習の準備「地域の危険な場所をハザードマップで確認してみよう！」

12:00 ~ 13:00 講師・研究協力者(大学院生)とのランチ座談会(お弁当支給)

13:00 ~ 13:45 体験実習 「洪水ハザードマップをVRで見て実際に水害を体験してみよう！」

13:45 ~ 14:30 体験実習 「自分と家族の防災計画を策定してみよう！」

(15分休憩:おやつタイム 防災・非常食の試食を含む)

14:45 ~ 15:15 ディスカッション

15:15 ~ 15:30 修了式(大切な人・地域を守るための防災宣言の採択)

15:30 終了、解散(希望者には研究室・実験室見学を実施)

課題番号	20HT0137	分野	工学・自然	キーワード	洪水災害
------	----------	----	-------	-------	------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	富山県立大学環境・社会基盤工学科・呉修一
住所	富山県射水市黒河5180
TEL番号	0766-56-7500
FAX番号	
E-mail	kure@pu-toyama.ac.jp
申込締切日	2020年10月1日(木)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2018年度 ~ 2021年度	基盤研究(C)(一般)	K043721	心理学と水工学の融合による人の心に届く防災情報・ツールの開発



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000000646995>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。